

青森市子ども会議委員からの意見一覧

質問内容	意見の内容	学年
Q. 「子どもの権利」普及啓発に関する講座をもっと知ってもらうためには？ 意見：17件	市は、広報やCMなどでアピールする。自分たちは、ポスターを作ったり、動画を撮ってアピールできる。	小学5年
	いろいろな人にそのことを広めて、知ってもらう。	小学5年
	パンフレットなどに書いて自分たちはポスターなどにする。	小学5年
	学校などで「子どもの権利」についての講座などを開く。	小学6年
	フェス、イベント、売店、青森のもの、ゲームをコラボする。新しく青森のゲームを作る。	小学6年
	広報あもりに載せる。回覧板でまわす。	中学1年
	勉強会の存在を知ってもらうために、学校にチラシを配ったり、ホームページを作る。	中学2年
	小・中学校の普及活動を活発に行う。	中学2年
	祭りなどイベント会場等でリーフレットを配りPRする。また、市政だよりに詳しく載せてもらったり、スーパーとかにチラシをはったりすれば、多くの人に知ってもらえると思う。	中学3年
	SNS、フリーペーパーでも宣伝。	高校1年
	SNSのアカウントを作って宣伝をたくさんする。子ども会議での活動とかも報告する。	高校1年
	教育機関の方などに子どもの権利条約があるということを知ってもらうために、学校などで講演を行う。また、市役所などの職員さん向けの講を行い、大人の方から子どもの権利条約があるということを知ってもらうことから始めたらよいと思う。	高校2年
	勉強会があることをパンフレットなどを使って先生たちや企業の人たちに教える。	高校2年
	子どもや保護者以外の大人が勉強会のことを知れる何らかの機会を設ける。ポスター作成。	高校2年
用紙による広告だけではなく、活動の様子をニュースなどで取り上げてもらえるようにする。	高校2年	
学校で講演する。また、JAMPチームのように、権利を行内で広める団体を作る。	高校3年	
勉強会についての手紙（プリント）を作り、学校で配ってもらう。	高校3年	
Q. 児童館を使う子どもを増やすためには？ 意見：16件	市は、広報や学校に手紙を配布したりする。自分たちはポスター・動画でアピールしたり、パンフレットを作成したりすることができる。	小学5年
	この本おもしろいよとか自分の読んでいる本を紹介する。	小学5年
	児童館のいいところなどを書いてポスターにする。自分たちはポスターを書く。	小学5年
	外での活動を増やす。	小学6年
	子どもの遊び場マップを市の施設に配る。	中学1年
	ポスターを作る。	中学2年
	パンフレットを配布する。	中学2年
	市としては、町内ごとの児童館など情報を市政だより載せたりすればよいと思う。自分たちも、最新の情報を収集して、遊び場マップを更新していけばよいと思う。	中学3年
	学校外は利用しづらいが、校内に設置→保護者が安心できる。	高校1年
	児童館で行っているイベントの内容をもっと流行しているものにする。高校生とかが土曜日に勉強を教えにいったり、一緒に遊んだりする。	高校1年
	児童館の利用時間を延ばす。	高校2年
	児童館でイベントを主催して子どもたちが親しみをもち、再び利用することにつながるようにする。	高校2年
	身近に利用できるように施設数を増やす。ポスター作り	高校2年
	「体験入館」のような子どもたち全員に1日来てもらう日を設ける。学校で説明会のようなものをしてもらう。	高校2年
子どもの遊び場マップを学校や保育園で配る。	高校3年	
児童館でどう遊ぶことができるのかをマップの中に入れる。	高校3年	
Q. 青森市子どもの権利相談センターへの相談者数を増やすには？ 意見：17件	アンケートをとったり、ポスターを作成する。	小学5年
	ポスターに書いたり、ミニキャラクターを作ったりする。	小学5年
	知らない人のためにポスターなどに書く。	小学5年
	相談者の解決方法の例をいくつか示す。	小学6年
	何か付録つき（宣伝のブーメランなど）の「かわいい」キャラクターのポスター	小学6年
	それぞれの学校で、先生が生徒に向けて、子どもの権利相談センターを紹介する。	中学1年
	子どもの権利相談センターPR用キャラクターを作る。	中学2年
	学校で相談センターの紹介をする。	中学2年
	学校を通してPR活動。	中学3年
	お祭りや、イベントでブースを設置し、プチ体験会をする。	高校1年
	ポスターを作って掲示する。	高校1年
	SNSを活用した宣伝などを行う。	高校2年
	SNSなどを使ってセンターがあることを教えたり、もっと相談しやすいような仕組みを作る。	高校2年
	手紙や電話など様々な方法で気軽に相談できることを伝えるCMづくりなどの広告	高校2年
名前が少し堅苦しいと思うため、ゆるい名前があったらいいと思う。	高校2年	
わかりやすいホームページを作る。	高校3年	
ポスター制作をする。	高校3年	

質問内容	意見一覧	学年
Q. いじめをなくすためには？ 意見：16件	気軽に相談できる場所を作る。自分たちは、解決方法を考える。	小学5年
	学校や市でいじめやなくそうなど広めて、話し合ったりする。	小学5年
	いじめられている人などを助けて自分たちは、そのいじめをなくす方法を考える。	小学5年
	先生などが過去のいじめの例などを子どもたちに話し、考えさせる時間を作る。	小学6年
	陰口を言わない	小学6年
	いじめてしまう子は、何らかの理由があるので、いじめてしまう子の心のケアをする。	中学1年
	相手のことを考える気持ちを持つことが大切。また、そういった自覚を持たせる。	中学2年
	相手のことを尊重する気持ちを持つ。	中学2年
	いじめの実態、解消した人の経験を知る場を作る。生徒一人一人が、いじめはしてはいけないと認識できるようになればよいと思う。	中学3年
	得意なことを発見し伸ばす。否定しない。	高校1年
	クラスで何かものを作ったりすることで作る時は協力するし、作り終えたらみんなで心が一つになる。	高校1年
	いじめについての講演会を行う。先生たちが教えるのではなく、学校の先輩などから教えてもらった方が理解できると思う。	高校2年
	学校と家庭との連携をよくする。誰にでも相談しやすい雰囲気づくり。	高校2年
	いじめにあったことがある人たちと共同団体をつくって活動する。	高校2年
未来ミーティングの後に、学校で発表、実践する。	高校3年	
いじめについての授業をする。	高校3年	
Q. 不登校をなくすためには？ 意見：16件	困っていることを聞いてくれる場所が沢山あるということを伝えるために、広報やポスター、手紙などでアピールする。	小学5年
	無理して行かせないで、少しだけでも学校に行かせたりする。先生や親に悩みなどを聞いてもらったりする。	小学5年
	なんで行きたくないか聞く。自分たちは、そのいきたがらない人を行きたくなるようにさせる。	小学5年
	不登校の子ども達どうしの集まる場所などを作る。そして意見を交換する。	小学6年
	仲良くする。陰口を言わない。	小学6年
	学校に行きたいけれど行けない子に対しては、原因を少しづつ無くしていくために、カウンセラーに対応してもらう。学校に行きたくないから行かない子に対しては、逃げ道になる場所（フリースクール等）を紹介する。	中学1年
	「待ってるからね」と伝えるには逆効果。いつでも明るく迎え入れられるような環境を作ることが大切。	中学2年
	相談センターを利用し、学校の楽しさを教える。	中学2年
	先生と生徒、生徒同士で相談しやすい雰囲気づくり。	中学3年
	学校生活の中でも、人を傷つける言動はやめるよう考えたり、安心して通える環境を作れたらいいと思う。	中学3年
	通い易い環境づくり、学校へ登校する前にZoom登校や児童会へ参加などステップになるものを設置。	高校1年
	学校に来ると楽しいことを伝える。SNSを使いすぎると学校に来なくてもみんなと話せると思ってしまうから、直接話をする機会を増やすべきだと思う。	高校1年
	不登校の人向けの学校があってもよいと思う。	高校2年
	オンライン授業などを継続して受けることができるようにすればいいと思う。	高校2年
学校が「授業を学びたい」「友だちと遊びたい」など子どもが安心して過ごせる場所にするための居場所づくり。いつでも戻ってこれるような雰囲気づくり。	高校2年	
不登校の子どもたち専用の施設を作る。（個室など）	高校2年	
不登校原因がクラスにいるなら、不登校児用のクラスを作る。	高校3年	